喜志西小だより

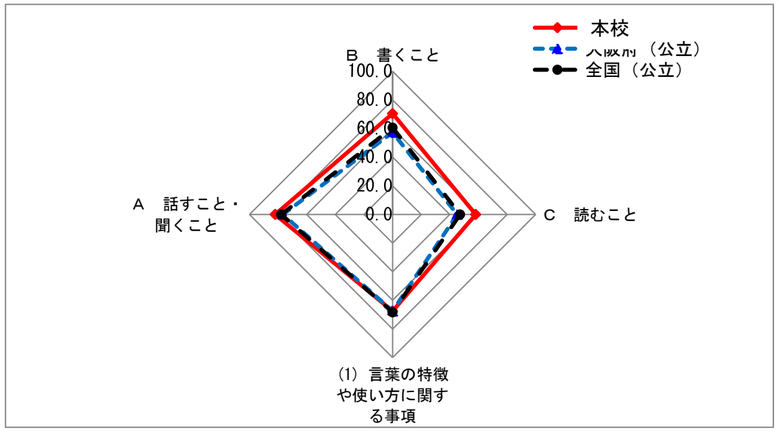
令和３年度　　第７号
令和３年　９月２９日
富田林市立喜志西小学校

令和3年度　全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面でありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】　＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞

【　国　　語　】



全体的な状況

「言葉の特徴や使い方に関する事項」だけ全国平均を少し下回ったものの、他のどの領域においても、正答率が大阪府・全国平均を上回っています。普段の授業の中で、どの領域の内容もバランスよく指導している取組みが良好な結果につながっています。

成果

普段より、どの教科の授業においても「自分の意見を書く」「授業のふり返りを書く」といった「書く活動」を取り入れてきたので、「書くこと」の領域の正答率が大阪府・全国平均を大きく上回りました。ただ書くだけではなく、目的や意図に応じて、自分の主張が伝わるように書き方を工夫する力がついてきています。

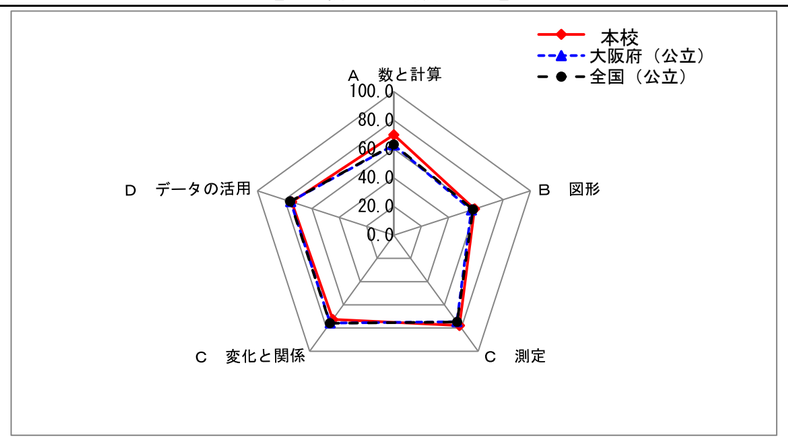
課題

今回の学力状況調査の中では、「つみ重ね」と「げんいん」の漢字の書き取りができない児童が見られました。大阪府・全国平均を下回っています。無答率は低いので、誤って覚えている児童が多かったと思われます。

課題解決に向けた取組み

漢字の習熟に関して、小テストを用いた指導は継続的に行っていきますが、ただ暗記するのではなく、熟語の意味を理解して書けるように指導します。そのために国語の授業だけでなく、他の授業でも国語辞典を積極的に使って、わからない語句を調べる活動をさらに取り入れていきたいと考えています。

【　算　　数　】



全体的な状況

「変化と関係」「データの活用」の領域は、大阪府・全国平均とほぼ同じ水準、他の領域は全国平均を上回っています。本校で継続して行ってきた習熟度別少人数授業や児童一人ひとりの課題に応じた授業を展開することで、基礎基本・応用力が定着してきています。

成果

「算数の授業の内容はよくわかる」に高い数値を示しているとおり、算数授業に習熟度別少人数授業を取り入れ、児童一人ひとりの課題に応じた支援ができています。学力状況調査の中では計算の正答率の高さにその成果が見られます。昨年度からさらなる基礎基本の徹底ができていると思われます。

課題

新しく学習指導要領で取り扱われるようになった「データの活用」に、「割合」の内容が盛り込まれた問題の正答率が低かったです。「割合」の内容は、普段の授業でも苦手意識を持っている児童が多いので、本校の課題であると考えられます。

課題解決に向けた取組み

新しい領域「データの活用」については、研修を深め、学校としての指導法の確立を図ります。また「割合」の内容においても下の学年から系統的な指導を行うことで、児童にとってわかりやすい授業をめざします。図を使った視覚的支援を積極的に取り入れていきます。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目

	本校	府	全国
自分には、よいところがあると思いますか	89.8	74.3	76.9
学校でコンピュータなどのICT機器を、他の友だちと意見交換したり、調べたりするために利用している。（ほぼ毎日）	51.3	10.3	10
英語の勉強は好きですか	76.9	67.3	68.3

課題を残した主な項目

	本校	府	全国
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	56.4	69.3	70.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	41	48.6	52.4
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていますか	59	64.8	67.2

全体的な状況

児童のほとんどが、自分にはよいところがあると思っており、自己肯定感が非常に高いことが伺えます。また、コロナ禍において市全体的にICT環境が急速に整いました。本校の児童はICT機器を積極的に活用できていると考えられます。2020年から必修化されたされた英語についても本校の児童は興味・関心をもって、学習に取り組んでいると思われます。

成　果

自己肯定感の高揚は、自他ともに大切に思う心を育むことに繋がります。児童一人ひとりのが自分に自信を持ち、よりよい学校生活を送るために、学校とご家庭との連携がうまくかみ合っている成果であると考えられます。また学校でのiPadの活用や、ご家庭へのiPadの持ち帰り学習の成果が、児童の積極的なICT機器の利用に繋がっていると考えられます。

課　題

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守れていない児童が多いようです。ICT機器を積極的に活用することは良いことですが、ルールを守って利用するのが大前提なので、ご家庭でも今一度使い方のルールを、お子さまと確認してくださるとありがたいです。また、地域や社会のためにできることや新しいものを考えることに課題があります。決められたことや言われたことはきちんとできますが、自分で考えて行動することができる児童はまだまだ少ないと思われます。

課題解決に向けた取組み

ICT機器の活用はさらに進めていきたいと考えています。その中でご家庭でのルールをきちんと守ることはもちろん、適切にインターネットを使いこなすための「ネットリテラシー」もあわせて指導を進めていきたいと思います。そのために教員の研修も行います。外部講師を招聘したり、研究授業を行ったりとよりよい授業づくりに取り組んでいきます。

〇保護者のみなさまへ（全体を通じて）

・学習面において・・・算数においては引き続き、習熟度別学習を取り入れた指導の工夫、他の教科においても児童が興味を持って学習に取り組める教材を工夫することで、さらなる基礎・基本の定着と応用力の伸長をめざします。教材の工夫においてはICT機器を効果的に活用し、話し合い活動も取り入れることで、「主体的で対話的な深い学び」のある授業づくりに取り組んでいきます。
・生活面において・・・学校生活の基軸は友人関係にあり、学年・クラスの他の児童との関係性が良好であればあるほど、学校の楽しさに繋がっていると考えています。人権教育を中心に、よりよい人間関係づくりと各家庭での基本的な生活習慣のさらなる確立に向け、ご家庭との連携をより一層図っていきたいと考えます。
・ 本校PTAスローガンにも掲げている、「朝ごはんの摂取」「就寝時間」についての結果は、今年度も相対的に高い数字となっています。これらの項目は、今の子どもたちにとって、各家庭で過ごす時間が充実したものとなるとても大切な要因であり、各家庭が子どもたちの基本的生活習慣に高い意識をもって取り組まれている結果であると考えます。最近、全国でゲーム（オンラインゲームを含む）等による友だちとのトラブルや長時間ゲームをすることで体調不良を訴える児童が多くなっております。そのような事態にならないためにも、引き続きご家庭での取組みをよろしくお願いいたします。